

1 月別気象概況（平成 26 年 1 月～12 月）

福岡管区気象台

（1）1 月の気象概況

上旬：天気は数日の周期で変化、8 日に前線を伴った低気圧の通過で雨

期間の中頃までは気圧の谷と高気圧が交互に通じ、天気は短い周期で変化した。8 日は前線を伴った低気圧の通過で雨となり県内では 15.5～45.0 mm のこの時期としてはまとまった雨となった。終わりは、冬型気圧配置による寒気の影響で雪の降った所があった。

旬の気温は、後半平年を下回る日もあったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量と日照時間は概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、4.9～8.0℃（平年差 0.1～1.2℃）で平年並、旬降水量は 16.0～48.0mm（平年比 92～375%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比 97～132% で平年並か多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。終わりに気圧の谷の通過で雨。少雨

大陸の高気圧に覆われて晴れた日が多かった。期間の終わりは寒気を伴った気圧の谷の通過で雨となった。

旬の気温は平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、2.6～6.0℃（平年差 -1.6～-0.5℃）で概ね平年より低く、旬降水量は 0.5～12.5mm（平年比 2～33%）で概ね平年よりかなり少なく、旬日照時間は平年比 107～165% で平年よりかなり多い所が多かった。

下旬：天気は数日の周期で変化した。高温多照

福岡で 29 日に「日最小相対湿度」、福岡などで「月間日照時間の多い方から」の 1 月の極値を更新

高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通じ、天気は短い周期で変化した。期間のはじめは強い寒気の影響を受けて雪となり、積雪した所があったが、中頃からは晴れて暖かい空気の影響を受ける日が多くなった。

29 日は福岡で相対湿度 15% を観測し「日最小相対湿度」の 1 月の極値を更新した。1 月は晴れた日が多く、福岡、宗像、八幡、前原、大宰府、添田、朝倉で「月間日照時間の多い方から」の 1 月の極値を更新した。

旬の気温は、はじめ平年を下回る日があったが、その後は平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を大きく上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を大きく上回った。

県内各地の旬平均気温は、6.0～8.3℃（平年差 1.6～2.7℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は 11.0～38.0mm（平年比 46～147%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比 135～174% で県内各地で平年よりかなり多かった。

(2) 2月の気象概況

上旬：はじめは高気圧に覆われて晴れた、中頃からは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨みぞれの日もあった。高温 多雨 寡照

はじめは高気圧に覆われて晴れた日があったが、中頃からは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨、みぞれの日もあった。6日は山間部で積雪となった所があった。

旬の気温は、はじめ平年を上回り、その後は平年を下回ったが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、5.7～8.1℃（平年差 0.9～2.1℃）で平年より高く、旬降水量は 30.0～51.5mm（平年比 136～342%）で平年より多く、旬日照時間は平年比 47～68%で、平年よりかなり少なかった。

中旬：気圧の谷や寒気の影響で、期間の中頃までは曇りや雨、終わりは高気圧に覆われて晴れた。低温

気圧の谷や寒気の影響で期間の中頃までは曇りや雨、終わりは高気圧に覆われて晴れた。13日から14日にかけては山沿いで雪が降り積雪となった所があった。

旬の気温は、概ね期間を通して平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、3.3～5.7℃（平年差－2.5～－1.3℃）で平年より低く、旬降水量は 19.5～41.5mm（平年比 70～122%）で県内各地で平年並、旬日照時間は平年比 49～96%で平年より少ない所が多かった。

下旬：期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れ、終わりは雨や曇り。多照

期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れたため、旬の日照時間は県内各地で多くなった。終わりは前線や低気圧の影響で雨や曇りとなった。

旬の気温は、前半は概ね平年を下回ったが後半は平年を上回り、旬では概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、6.6～9.4℃（平年差－0.7～1.6℃）で平年並、旬降水量は 9.5～35.0mm（平年比 34～99%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比 121～150%で、県内各地で平年より多かった。

(3) 3月の気象概況

上旬：中頃までは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨、終わりは高気圧に覆われて晴れた。

期間の中頃までは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、終わりは高気圧に覆われて晴れた。

旬の気温は、前半は概ね平年を上回ったが後半は平年を大きく下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、5.8～8.5℃（平年差-1.1～-0.1℃）で平年より低い所が多く、旬降水量は6.0～29.0mm（平年比20～60%）で概ね平年より少なく、旬日照時間は平年比108～131%で、概ね平年より多かった。

中旬：天気は数日の周期で変化した。

添田で「日最低気温の高い方から」の3月の極値更新

高気圧と気圧の谷や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。13日は前線を伴った低気圧が通過し、県内で11.5～62.5ミリのまとまった雨となった。14日は強い寒気の影響で、福岡であられを観測した。また、18日は添田で日最低気温13.8度を記録し「日最低気温の高い方から」の3月の極値を更新した。

旬の気温は、初めと中頃に平年を下回ったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、9.7～11.8℃（平年差0.8～1.6℃）で概ね平年より高く、旬降水量は17.5～96.5mm（平年比61～117%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比105～120%で、平年並みの所が多かった。

下旬：天気は数日の周期で変化した。高温 多照

26日に耳納山で「日最大1時間降水量」と博多などで「日最低気温の高い方から」、28日に太宰府などで「日最高気温の高い方から」の3月の極値更新

高気圧と気圧の谷や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。22～23日は高気圧に覆われて明け方冷え込み、内陸部を中心に霜の降りた所があった。25～26日と29～30日は前線を伴った低気圧の通過でまとまった雨となり、26日は耳納山で1時間降水量28.0mmを観測し「日最大1時間降水量」の3月の極値を更新した。また、低気圧の接近に伴って南からの暖かい空気が流れ込み26日は博多、朝倉、黒木で「日最低気温の高い方から」、28日は太宰府、久留米、黒木、大牟田で「日最低気温の高い方から」の3月の極値を更新した。

旬の気温は、初め平年を下回る日があったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、9.4～11.5℃（平年差0.7～1.3℃）で平年より高く、旬降水量は96.0～239.0mm（平年比86～130%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比113～124%で、県内各地で平年より多かった。

(4) 4月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。多照

博多で「日最高気温の低い方から」の4月の極値更新

期間の初めと後半は高気圧に覆われて晴れたが、中頃に低気圧や寒気の影響で曇りや雨となった日があった。4日から9日にかけて内陸部では遅霜となった所があった。

1日は福岡で日最小相対湿度 11%を観測し、4月の極値を更新した。また、5日は博多で最高気温 11.2℃を記録し「日最高気温の低い方から」の4月の記録を更新した。

旬の気温は、初めと終わりは平年を上回ったが、中頃は平年を下回り、旬の平均では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、10.9～13.3℃（平年差-1.4～-0.2℃）で概ね平年より低く、旬降水量は 6.5～39.5mm（平年比 13～69%）で平年より少ない所が多く、旬日照時間は平年比 120～139%で、県内各地で平年より多かった。

中旬：前半の天気は数日の周期で変化した、後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨。

寡照

期間の前半は高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変化した。後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨となり、旬の日照時間は少なくなった。13日は低気圧の通過により県内各地で 15.0～36.0mmのまとまった雨となった。

旬の気温は、初めと終わりは平年を下回ったが、中頃は平年を上回り、旬では概ね平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、13.5～15.8℃（平年差-0.2～0.9℃）で平年並か高く、旬降水量は 29.0～60.0mm（平年比 77～142%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 68～83%で、県内各地で平年より少なかった。

下旬：中頃までは概ね晴れた、21日と終わりは前線や低気圧の影響で曇りや雨。少雨

福岡で「日最小相対湿度」の4月の極値を更新

期間の中頃までは高気圧に覆われて概ね晴れた。21日と期間の終わりは前線や動きの遅い低気圧の影響で曇りや雨となった。

24日は高気圧に覆われて空気が乾燥し、福岡で最小湿度 11%を記録して「日最小相対湿度」の4月の極値を更新した。

旬の気温は、期間の初めと終わりは平年を下回る所もあったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量と日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、15.4～17.7℃（平年差 0.1～1.1℃）で概ね平年より高く、旬降水量は 4.0～16.0mm（平年比 8～31%）で、県内各地で平年よりかなり少なく、旬日照時間は平年比 79～87%で、概ね平年より少なかった。

(5) 5月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった、期間の中頃に前線の影響で一時雨。

低温 少雨 多照

期間の中頃に前線の影響で一時雨となる日があったが、その他は高気圧に覆われて概ね晴れ、県内全域で少雨、多照となった。また寒気の影響を受けた日が多く、特に6日と7日は放射冷却の影響で明け方冷え込み、山沿いでは霜の降りた所があった。

旬の気温は初めと終わりに平年を上回る日もあったが平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、15.6～17.8℃（平年差-1.7～-0.6℃）で低く、旬降水量は0.0～3.0mm（平年比0～4%）で、県内各地でかなり少なく、旬日照時間は平年比149～171%で、県内各地でかなり多かった。

中旬：期間の前半と終わりは前線や低気圧の影響で雨や曇り、後半は高気圧に覆われて概ね晴れた。多雨

18日に福岡では「日最小相対湿度」の極値を更新。

期間の前半と終わりは前線や低気圧の影響で雨や曇り、期間の後半は高気圧に覆われて概ね晴れた。12日と20日は県内でまとまった雨が降り、これまでの少雨傾向は解消した。18日は高気圧に覆われて晴れて乾燥し、福岡では「日最小相対湿度」10%を記録し、5月の極値を更新した。

旬の気温は、前半と終わりに平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、18.2～20.5℃（平年差0.0～1.5℃）で概ね高く、旬降水量は75.0～148.0mm（平年比131～192%）で、県内各地で多く、旬日照時間は平年比93～117%で概ね平年並だった。

下旬：期間の中頃に雨の降る日もあったが、その他は高気圧に覆われて概ね晴れた。

高温 少雨 多照

太宰府などで「日最高気温の高い方から」、「月間日照時間の多いほうから」の5月の極値更新

期間の中頃に前線の影響で雨の降る日もあったが、その他は高気圧に覆われて概ね晴れて、期間の終わりは気温が高くなり、30日には「九州北部地方高温注意情報第1号」を発表した。31日は太宰府で33.3℃、添田で32.4℃、大牟田で32.8℃の日最高気温を記録し「日最高気温の高い方から」の5月の極値を更新した。また、5月は日照時間が多く、福岡、宗像、八幡、行橋、前原、太宰府、添田、朝倉、久留米、大牟田で「月間日照時間の多いほうから」の5月の極値を更新した。28日は「黄砂に関する九州北部地方気象情報第1号」を発表した。

旬の気温は初めと中頃に平年を下回る所もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、20.7～22.9℃（平年差1.3～2.6℃）で概ねかなり高く、旬降水量は0.0～5.5mm（平年比0～14%）で、県内各地で概ねかなり少なく、旬日照時間は平年比139～162%で、県内各地でかなり多かった。

(6) 6月の気象概況

上旬：前線や低気圧の影響で曇りや雨、九州北部（山口県を含む）は2日ごろに梅雨入り。寡照

八幡などで「日最大風向・風速」、「日最大瞬間風向・風速」の6月の極値更新

低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、九州北部地方は2日ごろに梅雨入り（平年より3日早く、昨年より6日遅い）したと見られる。4日は県内各地で東よりの風が強くなり、八幡で南東12.3m/s、朝倉で東11.0m/sの「日最大風向・風速」を観測し6月の記録を更新した。また、八幡、添田、朝倉では「日最大瞬間風向・風速」の6月の極値を更新した。

旬の気温は、中頃に平年を下回る日もあったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量と日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、21.1～23.1℃（平年差0.2～0.8℃）で高い所が多く、旬降水量は5.0～53.5mm（平年比11～87%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比24～66%で概ねかなり少なかった。

中旬：気圧の谷や前線、低気圧の影響で曇りや雨。低温

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や梅雨前線、低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かった。

旬の気温は、中頃に平年を上回る日もあったが後半は大きく下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量と日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、20.9～22.6℃（平年差-1.7～-0.4℃）で低く、旬降水量は22.0～87.0mm（平年比31～75%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比56～90%で少ない所が多かった。

下旬：梅雨前線と高気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変化した。少雨

梅雨前線と高気圧の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。また、天気の崩れは小さく、降水量の少ない状態が続いた。

旬の気温は、平年を上回る日もあったが下回る日が多く、旬では県内各地で下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、21.9～23.4℃（平年差-2.1～-0.6℃）で概ね平年並、旬降水量は34.5～87.0mm（平年比24～53%）で、県内各地で少なく、旬日照時間は平年比92～120%で概ね平年並だった。

(7) 7月の気象概況

上旬：活発な梅雨前線の影響で雷を伴った大雨となる日が多かった 終わりは台風第8号の影響を受けた。多雨 寡照

梅雨前線の活動が活発となった3日、6日、7日は、県内で日降水量100ミリ前後の雷を伴う大雨となった。また、東シナ海を北上していた台風第8号は、9日には進路を東に変え、10日07時前に阿久根市付近に上陸、加速しながら宮崎県の東海上に達した。

3日は朝倉で「日降水量」の、大牟田で「日最大1時間降水量」の7月の極値を更新した。

旬の気温は、初めと後半に平年を上回る日もあったが下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は平年を大きく下回った。

県内各地の旬平均気温は、23.4～25.1℃（平年差-1.4～-0.4℃）で概ね低く、旬降水量は224.5～381.5ミリ（平年比137～273%）で、県内各地で多く、旬日照時間は平年比33～56%で、県内各地で少なかった。

中旬：九州から対馬海峡付近に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨。寡照

期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線が九州から対馬海峡付近に停滞することが多く、曇りや雨の日が多かった。

旬の気温は、後半に平年を上回る日もあったが下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、25.0～26.8℃（平年差-1.2～-0.2℃）で低い所が多く、旬降水量は43.0～150.0mm（平年比29～115%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比61～78%で、県内各地で少なかった。

下旬：高気圧に覆われる日が多かったが気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすかった。飯塚などで「日最低気温の高い方から」の7月の極値更新

高気圧に覆われる日が多かったが気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、30日は強い日射で午後、雷を伴い強い雨となった所があった。終わりは太平洋高気圧の周辺部となり時々雨となった。

21日、九州北部地方（山口県を含む）地方は梅雨明け（平年より2日遅く、昨年より13日遅い）したと見られる。25日は八幡で日最低気温28.4℃、26日は飯塚で27.9℃を記録し「日最低気温の高い方から」の7月の極値を更新した。

旬の気温は、初めと後半に平年を下回る日もあったが上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で上回った。

県内各地の旬平均気温は、27.1～29.3℃（平年差0.2～1.3℃）で平年並の所が多く、旬降水量は1.0～62.5mm（平年比2～95%）で、平年並の所が多く、旬日照時間は平年比101～127%で概ね平年並だった。

(8) 8月の気象概況

上旬：台風第12号、11号の影響を受けて雨や曇り。多雨 寡照

初めは台風第12号の影響を受けた。終わりは台風第11号の影響を受けて雨、中頃は高気圧に覆われて晴れた日もあったが高気圧の周辺部となって曇りや雨となった。3日は台風第12号の影響で、県内で6~100mm、5日は湿った空気の流れ込みで大気の状態が不安定となり、県内で28.0~162.5mmの大雨となった。台風第11号は、強い勢力を保持のまま10日6時過ぎに高知県安芸市付近に上陸し、11時頃には兵庫県赤穂市付近に再上陸、昼過ぎには日本海へ抜けた。

旬の気温は中頃に平年を上回る所もあったが、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で大きく下回った。

県内各地の旬平均気温は、25.3~27.1℃(平年差-2.1~-0.6℃)で概ね低く、旬降水量は90.0~274.0mm(平年比205~624%)で概ねかなり多く、旬日照時間は平年比15~23%で、県内各地でかなり少なかった。

中旬：停滞前線や湿った空気の流れ込みの影響で、期間を通して曇りや雨。多雨 寡照

13日に「日照不足と長雨に関する福岡県気象情報 第1号」発表

九州北部地方は太平洋高気圧の周辺部にあたり、湿った空気の流れ込みや停滞前線の影響を受けて、期間を通じて曇りや雨の日が多く天気はぐずついた。15日と20日は、日降水量70mm以上の雷を伴う大雨となった所があった。また、7月末から日照が少なく、13日に「日照不足と長雨に関する福岡県気象情報 第1号」を発表した。

旬の気温は、県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回った所が多く、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。

県内各地の旬平均気温は、25.3~27.0℃(平年差-2.4~-0.7℃)で低く、旬降水量は50.0~227.5mm(平年比81~328%)で、概ね多く、旬日照時間は平年比39~58%で、県内各地でかなり少なかった。

下旬：低気圧や前線、湿った空気の流れ込みの影響で、期間を通して曇りや雨。

低温 多雨 寡照

宗像などで「月間日照時間の少ない方から」の8月の極値更新

九州北部地方は太平洋高気圧の周辺部にあたり、湿った空気の流れ込みや低気圧、前線の影響を受けて、期間を通じて曇りや雨の日が多く天気はぐずついた。22日は、未明に太宰府市、筑紫野市付近を中心に解析雨量で1時間に約110mmの猛烈な雨が降り浸水被害が発生するなど県内の広い範囲で大雨となった。8月は日照が少なく、宗像、八幡、行橋、前原、太宰府、添田、朝倉、久留米、黒木、大牟田で「月間日照時間の少ない方から」、博多で「月平均気温の低い方から」の8月の極値を更新した。

気温は、中頃に平年を上回る日もあったが、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。

県内各地の旬平均気温は、24.4~26.0℃(平年差-2.1~-1.1℃)で概ねかなり低く、旬降水量は67.0~212.0mm(平年比100~280%)で、県内各地で多く、旬日照時間は平年比40~63%で、県内各地でかなり少なかった。

(9) 9月の気象概況

上旬：前半は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨、後半は高気圧に覆われて概ね晴れ。

1日に日照不足に関する福岡県気象情報第2号発表

期間の前半は、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。後半は高気圧に覆われる日が多く、概ね晴れた。日照の少ない状態が続き、1日に日照不足に関する福岡県気象情報第2号を発表した。3日から4日にかけては、前線を伴った低気圧が黄海から日本海にゆっくりと進み、雷を伴って3日は県内で9.5mm～60.5mm、4日は32.0mm～61.0mmの大雨となった。

気温は後半、平年を上回る日もあったが、下回る日が多く旬では県内各地で平年を下回った。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、23.8～25.7℃（平年差-1.4～-0.1℃）で概ね平年並、旬降水量は46.0～110.5mm（平年比57～147%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比70～90%で概ね少なかった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、終わり頃は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨。

期間の中頃にかけては高気圧に覆われて概ね晴れた。終わり頃は前線や気圧の谷の影響で雲が広がり、19日から20日にかけては県の南部を中心に雨となった。

日照の少ない状態は次第に解消した。

気温は、中頃に平年を上回る日もあったが下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、20.8～23.5℃（平年差-2.4～-0.8℃）で概ね平年より低く、旬降水量は0.0～28.0mm（平年比0～69%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比82～110%で概ね平年並だった。

下旬：前半は曇りや雨、後半は高気圧に覆われて晴れた 高温

期間の前半は湿った空気や大陸東岸を北上した台風第16号の影響で曇りや雨、後半は高気圧に覆われて晴れた。終わりは気圧の谷の影響で一時雨となった。

気温は、はじめに平年を下回る日もあったが、上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、21.0～23.5℃（平年差-0.2～1.3℃）で高く、旬降水量は5.5～47.5mm（平年比17～62%）で少ない所が多く、旬日照時間は平年比83～113%で概ね平年並だった。

(10) 10月の気象概況

上旬：前半は天気は周期的に変化、後半は高気圧に覆われて晴れ。高温

9日に「低温」の異常天候早期警戒情報発表

期間の前半は、前線や台風第18号の影響で天気は周期的に変化した。後半は高気圧に覆われて晴れた。非常に強い台風第18号は4日、沖縄の東海上を北上し、5日には九州の南海上で向きを北東に変えて、6日8時過ぎ、強い勢力を保ったまま静岡県浜松市付近に上陸、その後関東地方を横断して昼過ぎには関東の東海上に達した。

気温は後半、平年を大きく下回る日もあったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、19.2～21.5℃（平年差0.4～1.2℃）で高く、旬降水量は14.5～39.0mm（平年比37～88%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比94～129%で多い所が多かった。

中旬：はじめは台風第19号や湿った気流の影響で曇りや雨、中頃から終わり頃にかけては高気圧に覆われて概ね晴れ。多雨

13日に行橋で「日最大1時間降水量」、前原で「日降水量」、また前原などで「日最大風向・風速」の10月の極値を更新

大型で強い台風第19号は12日にかけて東シナ海を北上、13日は進路を北東に変え08時半頃に鹿児島県枕崎市付近に上陸し、宮崎市付近に進み日向灘に抜けた。13日は台風第19号の影響で暴風を伴い、県内で22.0mm～151.5mmの大雨となり、行橋では1時間降水量30.5mmを観測し「日最大1時間降水量」、前原では日降水量102.0mmを観測し「日降水量」、前原で最大風速14.9m/s、大牟田11.6m/s、行橋8.0m/sを観測し「日最大風向・風速」の10月の極値を更新した。

気温ははじめと終わり頃に平年を上回る日があったが、中頃は平年を下回り、旬では概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、16.9～19.3℃（平年差-1.0～0.0℃）で平年並、旬降水量は24.5～156.0mm（平年比139～565%）で県内各地で多く、旬日照時間は平年比82～99%で平年並の所が多かった。

下旬：天気は数日の周期で変化した。高温

24日に「高温」の異常天候早期警戒情報を発表

気圧の谷や前線と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変化した。

気温は平年を下回る日と上回る日が交互に現れたが、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、15.9～18.4℃（平年差0.2～1.9℃）で高く、旬降水量は7.0～63.5mm（平年比37～280%）で平年並の所が多く、旬日照時間は平年比100～112%で概ね平年並だった。

(11) 11月の気象概況

上旬：天気は数日の周期で変化した。

気圧の谷、低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。

気温は中頃に平年を下回ったが、その他の期間は平年を上回り、旬では概ね平年を上回った。降水量、日照時間はともに平年を下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、13.5～16.2℃（平年差-1.2～1.0℃）で平年並、旬降水量は23.0～37.5mm（平年比62～134%）で、県内各地で平年並、旬日照時間は平年比86～101%で概ね平年並だった。

中旬：はじめは気圧の谷や低気圧の影響で雲が広がった。中頃からは高気圧に覆われて概ね晴れた。低温 少雨

17日、20日に「高温」の異常天候早期警戒情報を発表

期間のはじめは気圧の谷や低気圧、冬型気圧配置による寒気の流れ込みの影響で雲が広がりやすく、雨の降る日もあった。中頃からは高気圧に覆われて晴れる日が多かった。期間を通して大陸の高気圧に覆われることが多く、気温は低く、降水量は少なかった。

気温は、はじめ平年を上回ったが、その後は寒気の流れこみで平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、9.4～12.9℃（平年差-2.0～-0.8℃）で平年より低く、旬降水量は0.0～13.0mm（平年比0～41%）で、県内各地で平年より少なく、旬日照時間は平年比94～116%で概ね平年並だった。

下旬：期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れた。中頃からは天気は短い周期で変化した。高温 多雨

25日に太宰府で「日最大1時間降水量」の11月の極値を更新

期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、期間の中頃からは高気圧と低気圧が交互に通過し天気は短い周期で変化した。25日と30日は前線を伴った低気圧の通過で、県内各地でまとまった雨が降り、特に25日は太宰府で「日最大1時間降水量」23.5mmを観測して11月の極値を更新した。

気温は、はじめ平年を下回る所もあったが、期間をとおして平年を上回り、旬では県内各地で平年をかなり上回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は平年を下回る所が多かった。

県内各地の旬平均気温は、12.6～15.2℃（平年差2.7～4.2℃）で平年よりかなり高く、旬降水量は42.0～113.0mm（平年比169～404%）で県内各地で平年より多く、旬日照時間は平年比86～107%で概ね平年並だった。

(12) 12月の気象概況

上旬:期間をとおして冬型気圧配置による寒気の影響や低気圧や前線の影響で曇りや雨。
低温 寡照

2日に福岡で初雪 4日に福岡で初冠雪 8日に「低温」の異常天候早期警戒情報を発表

期間の後半に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間をとおして冬型気圧配置による寒気の影響や低気圧、前線の通過で、曇りや雨となる日が多く、みぞれを伴う日もあった。2日は福岡で初雪(平年より13日早く、昨年より4日遅い)を、4日は福岡で背振山の初冠雪(平年より4日早く、昨年より15日遅い)を観測した。

気温は、期間をとおして平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回る所と下回る所があり、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、5.1~8.2℃(平年差-2.3~-1.5℃)で平年より低く、旬降水量は12.5~48.0mm(平年比57~187%)で概ね平年並、旬日照時間は平年比46~71%で、県内各地で平年より少なかった。

中旬:期間をとおして冬型気圧配置による寒気の流れ込みや気圧の谷の影響で曇りや雨。

低温 多雨

11日に「低温」の異常天候早期警戒情報を発表 14日は福岡で初氷を観測 大牟田で「日最低気温の低い方から」の12月の極値更新

期間の後半に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間をとおして冬型気圧配置となる日が多く、寒気の流れ込みや低気圧、前線の通過の影響で曇りが広がりやすく、雨や雪の降る日が多かった。19日は放射冷却の影響で冷え込み、大牟田で-4.7℃を観測し、「日最低気温の低い方から」の12月の極値を更新した。

気温は、期間をとおして平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は、3.4~6.8℃(平年差-2.4~-1.5℃)で、県内各地で平年よりかなり低く、旬降水量は32.5~65.0mm(平年比168~359%)で各地で平年より多く、旬日照時間は平年比59~92%で概ね平年より少なかった。

下旬:期間の初めは冬型気圧配置による寒気の影響で雨や雪、中頃からは高気圧に覆われて晴れた日が多かった。終わりは低気圧が発達しながら通過し、一時雷やあられを伴った。

27日に福岡で初霜 31日に大牟田で「日最大風向・風速」の12月の極値更新

期間の初めは冬型気圧配置による強い寒気の影響で雨や雪となった。期間の中頃からは高気圧に覆われて晴れた日が多かった。27日は晴れて明け方冷え込み、福岡で初霜(平年より15日遅く、昨年より22日遅い)を観測した。31日は低気圧が発達しながら対馬海峡を通過して、雷やあられを伴う荒れた天気となり、大牟田で北西の風11.0m/sを観測し、「日最大風向・風速」の12月の極値を更新した。

気温は、初め平年を大きく下回り、中頃からは数日の周期で変化し、旬では県内各地で下回った。降水量は概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は、4.1~7.7℃(平年差-1.1~-0.3℃)で平年より概ね低く、旬降水量は1.5~20.0mm(平年比12~118%)で概ね平年並、旬日照時間は平年比104~130%で概ね平年より多かった。

(13) 月別値の階級区分

福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
平成 26 年 1 月	高い	平年並	かなり多い
平成 26 年 2 月	平年並	多い	少ない
平成 26 年 3 月	かなり高い	平年並	多い
平成 26 年 4 月	高い	かなり少ない	平年並
平成 26 年 5 月	かなり高い	少ない	かなり多い
平成 26 年 6 月	低い	少ない	少ない
平成 26 年 7 月	平年並	平年並	平年並
平成 26 年 8 月	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
平成 26 年 9 月	平年並	少ない	平年並
平成 26 年 10 月	平年並	かなり多い	平年並
平成 26 年 11 月	高い	多い	平年並
平成 26 年 12 月	低い	多い	平年並

階級区分について

気象要素の分布を値の大(高)、小(低)によって、「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1:1:1)の等確率で、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」の出現率は10%です。